

目次

寄附をいただいた方へのインタビューⅧ	
一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金（小畑英明理事長）……………	1
寄附で保護される京都の文化財	
～平成28年度に実施した事業について～……………	3
寄附いただいた方々の京都文化体験……………	7
平成28年度の寄附の状況……………	10
「文化財を守り伝える京都府基金」の概要……………	11

文化財 こぼれ話 12

○ 棟札のメッセージ

丹後のとある小さな神社の建築年代を推定するため、文化財保護課の職員と現地調査に出かけたときのことです。

祠の扉を開け、内部を調査していると、頭部を山形に加工した1枚の板が見つかりました。建築物の建築年や日時、目的や関係者の名前が書かれた板で、建物の棟木（むなぎ）に打ち付けられていることが多いため、棟札（むなふだ）と呼ばれています。

この調査で発見された棟札は、これまで研究者の目にも触れず、地元の方も見たことがない新発見の棟札でした。棟札には、「文化十四丁丑罫 奉勧請池箴稻荷大明神 □月□□□□六」と3行にわたって墨で文字が書かれ、裏にも村の名前などが書かれていました。この棟札の発見により、この神社は文化14年（1817）に建てられたことが判明しました。

このように棟札は、大きな神社やお寺の建物だけでなく、小さな祠にも納められ、神社が建てられたときの人々の思いや未来の子孫たちへのメッセージを、現代に伝えています。

